

平成 29 年度 法人採用者研修会の報告

大田幸陽会に新しく採用された職員を対象に、5月23日(火) 研修会を開催しましたので、ご報告いたします。

開催日時：平成 29 年 5 月 23 日(火)16 時

会 場：社会福祉法人婦人の園本部・大森福興教会 集会室
※大田区内の社会福祉法人が相互交流・人材育成を進める一環として、会場をお借りし開催いたしました。

研修内容・ねらい

当法人設立時からの理事であり親でもある辛嶋前理事長を講師として、法人の成り立ちや障がい当事者・ご家族の「思いを話す」場を設け、職員が「聴く」ことで、当法人の成り立ち・障害者福祉についての共感的理解を実感してもらうことを目的としました。

研修テーマ・講師

「大田幸陽会の成り立ちと障害者の親として」・・・辛嶋前理事長

対象となる新人職員……合計 41名

○29年度 採用職員 22名

○28年度全体研修以降の入職職員 19名

参加者からの声（要約・抜粋）

- ・入職時に法人の成り立ちなどを理解でき、このような研修を開催してもらったことは、有難かった。
- ・親御さんや多くの支援者の努力によって法人が作られたことが理解できた。
- ・講師から「やり続けること」「学び続けること」の大切さを教わった。
- ・健康に留意し良い仲間を作って、たくさんの事を相談していきたい。
- ・私がこの法人に入って今この話を聞けることに感謝したい。
- ・保護者の視点での話を聞くことが出来て、勉強になった。
- ・辛嶋理事より「幅の広い職員になって欲しい」と言われたこと。まさにその通りだ と思いました。
- ・もっともっと利用者さんに寄り添った支援ができる職員になりたいと思いました。
- ・輪飾りを作るように切れないで続けること。続けること、継続することの大切さを教わった。

などの感想をいただきました。

